

急性期・回復期・生活期における 多職種連携と作業療法の展開

講師 山田 麻和 氏

医療法人春回会 長崎北病院 総合リハビリテーション部 科長
認定作業療法士 専門作業療法士（脳血管）
長崎大学 非常勤講師、博士（医学）
長崎シーティング研究会（代表）



急性期・回復期・生活期における リーズニングや多職種連携の方法を 症例を通し学びませんか？

山田先生は、パーキンソン病をはじめとする神経難病、脳卒中後の高次脳機能障害、リウマチなどの自己免疫疾患まで、幅広い疾患を対象に作業療法を展開されています。本研修では、目標の聴取が難しくMTDLPの実践に苦慮するケースに対し、どのような視点でリーズニングを行うべきか、その手法をMTDLPだけに限定せず、臨床実践のポイントを交えながら様々な角度からお話しいたします。

日 時： 令和8年 11月14日（土）

14：00～17：00（受付開始 13：30から）

会 場： アイネス（大分県消費生活・男女共同参画プラザ）大会議室
オンライン（zoom）のハイブリット開催

定 員： 会場 50名 Web 90名

参加費： 当協会会員・他県士会会員・他職種 1000円
当協会会員でない県内の作業療法士 3000円
作業療法士養成校学生 無料

連絡先： ot.oita.kyouiku@gmail.com（教育研修部 MTDLP推進班 担当：自見・永尾）

※日本作業療法士協会生涯教育基礎ポイント2ポイントが付与されます。



お申込みはこちら
（11月7日締切）